

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 豊能町社会福祉協議会

1. 地域福祉の推進及び地域福祉活動

2年度はコロナ禍のため、今まで地域で実施していた会食、サロン等ふれあいを基本とした事業はできませんでした。外出自粛が求められていたので、出かけることや人と話をすることさえ困難な状況となり、今までのつながりをどのように継続するかを模索しながらの一年でした。そのような中で「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金」を受け、地域の高齢者等への見守り支援事業を実施しました。見守り支援事業では、地区福祉委員会と協働で、「見守り事業」、「つながり事業」として実施し、地域のニーズ把握のためアンケート調査も行いました。

第4次豊能町地域福祉計画・第4次豊能町地域福祉活動計画の策定を行い、コロナ禍であってもできること、今までのつながりを継続できるように、第3次計画を踏襲し、「地域のつながりでつくる安心して暮らせるまち・とよの」を基本理念としました。また、地区別アクションプランの中では地域福祉を考えるワークショップにより地区毎に目標と具体的な取り組みを決めました。今後は計画が実行できるよう様々な課題に取り組んでいきます。

1) 見守り支援事業

①見守り事業

ひとり暮らし高齢者、老老介護等で気になる方に対し、電話訪問や個別訪問（弁当や情報をお届け）を行う。

弁当のお届け実績 6月119人、9月190人、11月210人、1月217人、3月220人

※6月は4地区、9月以降は6地区で実施

②つながり事業

コロナ禍でも地域の高齢者とのつながりが維持強化できるように、サロン等への参加者への個別訪問（436人）及びつながりプランター（プランターに野菜を植え庭先で育ててもらい、生育状況を確認しながらお互いが声をかける機会を創る）（107人）

2) アンケート調査

①ひとり暮らし高齢者等について現在の生活状況についてアンケート（5月）

配布数710通（一部高齢者世帯を含む）、返送数297通（ハガキ返送）、回収率42%

②ひとり暮らし高齢者と福祉委員・地域ボランティアにコロナ禍で実施している事業及び再開を予定している事業全般についてのアンケートを実施（8月～9月）

ひとり暮らし高齢者 配布数198通、返送数159通、回収率80.3%

福祉委員・地域ボランティア 配布数260通、返送数233通、回収率89.6%

3) 地区福祉委員会代表者会（定例7/2、9/3、11/5、1/7、3/4 臨時5/28、10/1）

各地区福祉委員会の総会が書面決議となり、定例会を開くことが困難な中、5月に臨時で代表者会を開き今後の事業について話し合いました。その中で電話訪問や弁当・情報をお届けし、ひとり暮らし高齢者等への見守り支援を進めることを決めました。後の定例会議により地域の状況も踏まえ、情報共有を図りながら意見交換を行いました。

4) 三者（民児協・行政・社協）連絡会（5/25、7/27、9/30、11/30、2/2）

安心生活見守り台帳及び避難行動要支援者名簿についての状況を確認しました。2年度はコロナ禍における各組織の取り組みについても情報共有を図りました。

5) 地区別懇談会

3年度に継続して実施する見守り事業やつながり事業について地区福祉委員会役員を中心に懇談を実施しました。

吉川・ときわ台（12/7）、東ときわ台（1/7）、光風台（12/18）、新光風台（12/18）、希望ヶ丘（12/9）、東能勢（1/13）

6) 社会福祉協議会一斉メールシステムを活用した「認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業 模擬訓練」

コロナ禍の中、集まっただけの検索を避け個人ワークによる訓練としました。(12/1)

対象：福祉委員、民生委員、認知症キャラバンメイト

7) かぎ預かり事業（緊急時安否確認事業）

吉川・ときわ台地区 利用者 13 名、光風台地区 利用者 2 名、希望ヶ丘地区 利用者 1 名

8) 協働アピール推進会議（7/30、3/29）

（平成 30 年に大阪府社会福祉協議会連合会と大阪府民生委員児童委員協議会連合会が情報共有をすすめ、地域全体の見守り支援に協働して取り組む）

コロナ禍で今までと同様の事業実施できない中での見守り支援について各地区で情報共有を図りました。

9) 広報啓発活動

社会福祉協議会広報紙にてコロナ禍であっても地区福祉委員会と協働で取り組んだ事業を紹介

10) 各種事業

①子育て支援事業

コロナ禍のため、従来の子育てサロンは実施できませんでした。希望者のみでしたが、福祉委員で個別訪問活動を行いました。

12/19～12/24 に訪問 80 人、3/20～3/25 に訪問 88 人

②障がい者支援事業

従来のふれ愛交流会の実施はできなかつたため、昨年のふれ愛交流会への参加者に通所施設を通じて訪問を実施しました。

たんぼぼの家 19 人、ひまわり 34 人、第 2 わとと 18 人、一般 3 人 計 74 人

③ふれあいのつどい 中止

11) 研修・講習会

①福祉委員新任研修

1 回の参加者を少人数にし、5 回に分けて実施しました。

7/25 ボランティアルーム 27 人参加

「社会福祉協議会業務と地区福祉委員会活動」「車イスの扱い方」社会福祉協議会職員

②小地域ネットワーク活動リーダー研修会 ※録画配信

2/17 9 人、2/24 12 人、2/26 15 人、3/3 15 人（民生委員児童委員含む）

12) その他

- ・社会福祉協議会広報委員会委員（各地区より選出）
- ・苦情解決第三者委員（1 人）

13) 地区福祉委員会の活動

地区名	委員数(人)	活動内容
吉川・ときわ台	34	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問、つながりプランター）、さくらサロン（感染者が減少している期間のみ）、子育て支援事業、丁目会議、広報紙「福祉委員だより」の発行

東ときわ台	15	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問）、子育て支援事業、広報紙「福祉委員会だより」の発行
光風台	24	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問、つながりプランター）、ふれあいサロン（感染者が減少している期間のみ）、いきいき百歳体操（感染者が減少している期間のみ）、子育て支援事業、広報紙「福祉委員会だより」及び「こちら福祉委員会です」の発行
新光風台	31	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問）、子育て支援事業、丁目井戸端会議、広報紙「福祉委員会だより」の発行
希望ヶ丘	30	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問）、ほのぼのランチ・ひとり暮らし高齢者交流懇談〈ほほえみの会〉対象者への個別訪問、歌声広場・脳トレ（感染者が減少している期間のみ）、子育て支援事業、広報紙「福祉委員会だより」の発行
東能勢	36	見守り事業（電話訪問、弁当や情報のお届けによる個別訪問）、つながり事業（サロン等参加者への個別訪問）、子育て支援事業、地区別サロン（感染者が減少している期間のみ）、いきいき百歳体操（感染者が減少している期間のみ）、子育て支援事業

①連絡調整会議

各委員会毎月1回（緊急事態宣言期間中や感染者が拡大している場合は中止、事業別部会は状況に応じて随時開催）

②広報啓発

福祉委員または自治会を通じて個別配布

③研修

2年度は中止または延期

2. 関係機関・団体との連携による事業

1) コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

コロナ禍において生活に困窮する世帯が増加したこと、外出自粛のため人と会えない不安な気持ちを抱える方が増えたことなどで相談が増えました。状況に応じて食料支援や関係機関へのつなぎ、情報共有や定期的な見守りを行っています。

①住民活動の育成・支援

当事者会活動支援（実施事業周知・相談）

②要援護者に対する見守り・相談

相談の件数

高齢者 114件、障がい者 85件、ひとり親家庭の親子3件、その他35件

各種情報提供・申請援助

福祉制度・サービスに関する相談援助 17件、生活に関する身近な相談 97件

健康・医療に関する相談 48 件、生活費に関する相談 82 件、その他 29 件

2) 生活支援コーディネーター配置事業

コロナ禍で思うように活動することが難しい中、知恵を出し合い工夫をして感染防止の対策をしながら地域支え合い活動に取り組みました。

- ①生活支援団体の会議への出席、団体の活動についての相談等 13 回
- ②つどいの場づくりについての相談 2 回
- ③コロナ禍における生活支援活動の留意点についてのパンフレットの作成
- ④生活支援団体の一覧の作成し全戸配布
- ⑤キャラバンメイト連絡会等への参画
- ⑥その他 随時各種団体活動の支援等を行う

3) 生活困窮者支援

コロナ禍において収入減や失業等で生活困窮者が増えています。食を支援するためフードドライブを実施しました。11/2～11/13 の間に地域に呼びかけ、食品 274 点、米 103 kg の協力をいただきました。また、関係機関と連携し相談体制を強化しました。

3. ボランティアセンター運営事業

地域でのボランティア活動や学校での福祉教育・ボランティア活動の推進などにより、幅広い年代の人々が「自分にできる活動を行うこと」に関心を持っています。しかしながら、コロナ禍の影響でボランティアグループの活動が制限されることとなり、依頼件数、対応件数ともに減少しています。

その状況の中でも可能な限り活動のきっかけとなる講座を開催すると共に、情報の提供や需給調整を行いました。

1) 需給調整

依頼内容	依頼件数 (件)	対応件数 (件)	ボランティア数 (人)
行事援助	3	0	0
手話通訳	1	1	4
学校関係	1	1	0
その他	1	1	1
合計	7	3	5

2) ボランティアセンター事業

各種講座の開催

講座名	実施期間・回数	受講者数 (延べ人数)	講師
初級手話講習会	7/16～10/1 全 10 回	46	VG 杉の会 ろうあ部会 小島氏
中級手話講習会	10/15～1/7 全 9 回	42	ろうあ部会 小島氏 VG 杉の会

※当初開催予定していた朗読講習会は、コロナ禍のため中止としました。

ボランティア啓発

社会福祉協議会広報紙、ホームページにてボランティアセンター及び登録ボランティアグループの活動紹介

3) ボランティア登録

グループ：38 グループ (583 人)、個人：15 人

4) ボランティア連絡会の活動支援

コロナ禍で毎年実施しているふれ愛交流会やふれあいのつどいが中止となりました。障がい者施設への訪問やボランティア活動についての啓発事業を行うことで交流やつながりを絶やさないようにしました。また、規模を縮小し、人数制限をしながらではありましたが、設立 30 周年記念式典も開催しました。役員会は、事業内容等について随時開催し、定例会は毎月第 1 月曜日に事業の企画やグループ間の連絡調整のために開催しました。(緊急事態宣言中は中止)

町立たんぽぽの家訪問 (7/27)、ボランティアビンゴ (9/11・12)

設立 30 周年記念式典 (11/20) 西公民館大会議室

構成グループ (8 グループ)、個人ボランティア (1 人)

杉の会、豊能登山キャンプクラブ、せせらぎ、やよい会、てんとうむし、かざぐるま、虹の会、豊能町観光ボランティアガイドの会

ボランティア連絡会の活動費助成 50,000 円

ボランティア連絡会のしおり発行

大阪府市町村ボランティア連絡会関係

テーマ別研修 (11/11) ズーム、代表者会議 (2/25) 大阪府社会福祉会館

5) ボランティアグループの活動の推進及び助成

ボランティア活動助成金 (6 グループ)

豊能登山キャンプクラブ、せせらぎ、てんとうむし、やよい会 各 50,000 円

かざぐるま 30,000 円、杉の会 20,000 円

6) ボランティア総合補償制度の受付

ボランティア活動保険 : 811 人、ボランティア・市民活動行事保険 : 81 件、

非営利・有償活動団体保険 : 4 団体

7) ボランティアグループ活動報告

登録グループの活動状況調査を 4 月に実施

グループ名	会員数(人)	活動内容
① ふきのとう	5	高齢者との茶話会の開催
② 杉の会	26	ろう者を交えての手話学習、各種講演等での手話通訳等
③ 豊能登山キャンプクラブ	30	キャンプボランティアスタッフとして子ども対象のキャンプを主催、野外活動リーダーの養成
④ ゆずり葉会	12	オイスカ関西研修センターで日本文化にふれてもらうための交流・指導(国際交流)の実施
⑤ 大阪府高齢者大学同窓会豊能	98	世代間交流、伝承玩具・手作りおもちゃの指導や出前指導
⑥ せせらぎ	15	社会福祉協議会広報紙・図書館だよりの録音、テープ図書の作成、対面朗読等
⑦ やよい会	34	サロン活動、高齢者施設訪問等
⑧ 点訳サークル「てんとうむし」	20	社会福祉協議会広報紙・絵本・カレンダーなどの点訳、小学校などでの啓発活動
⑨ 豊能町食生活改善推進員協議会	37	健全な食生活の実践を目指し、幅広く食育活動を提供し楽しく健康づくりをすすめる会

⑩ 文字通訳グループ 「かざぐるま」	10	健聴者（要約筆者）が聞き取った話の要点を、その場で聴覚障がい者に文字で伝える通訳
⑪ コープこうべサークル アップリケ	4	ねたきりの高齢者や身体の不自由な方への清拭布作り
⑫ ボランティアグループ 箏曲千鳥の会	11	琴演奏による施設訪問や地域行事への参加
⑬ やすらぎの会	26	高齢者との交流、サロンの開催
⑭ 虹の会	24	不用品バザーによる収益金で防犯ブザー等の贈呈、アドプトロード虹の道（光風台）の清掃活動
⑮ 電話訪問グループ「べる♪」	5	70歳以上のひとり暮らしの方、ご夫婦でお住まいの方へ電話による訪問
⑯ 歌体操豊悠	12	音楽に合わせて手足を動かす歌体操を通して、高齢の方の健康増進を図る
⑰ よさこいサークル よっちょれ	7	よさこい踊りによる施設訪問や地域行事への参加
⑱ 苗の会	2	手作り作品販売の収益金を福祉団体等へ寄付、施設等の利用者に芋掘り・花摘みの場の提供
⑲ ハンドベル倶楽部 「かりん」花鈴	11	施設等でハンドベル・トーンチャイムの演奏（ミュージックベルを振る体験をしてもらう）
⑳ 「夢楽らいぶ」一座	3	施設等で行う元気いっぱいギター弾き語りショー
㉑ 豊能町コピスクラブ	13	雑木林の林床整備・間伐の手入れを行い、自然を保全しつつその有意義な活用を図る
㉒ 3B体操	5	ボール・ベル・ベルターの3つの用具を運動の助けとして、障がい者・高齢者の心と身体のケアを行う
㉓ 親まなびでこぼこひよろん	5	子育てだけではなく親自身が学べる講座の開催
㉔ ダンス計画	10	創作ダンス披露による施設訪問
㉕ 豊能町観光ボランティア ガイドの会	41	豊能町の歴史・民俗・文化などのガイドを観光客に対し行う
㉖ とよの絵本の会「とまと」	16	地域の子ども（大人も）たちに絵本の読み聞かせを行う
㉗ 檸檬のきもち	3	施設等へ出向きオカリナの演奏を行う
㉘ とよのガイドヘルプの会 「ウィズ・ユー（with you）」	4	視覚障がい者のガイドヘルプ、学校や地域の福祉体験学習のサポート
㉙ 元気あっぷ倶楽部	29	マジック、銭太鼓、南京玉すだれなどの演芸を地域の行事などで行う
㉚ Atelier T（アトリエティー）	4	高山の山林保護と間伐材の活用、シニア世代の交流の場作り
㉛ いやしのハーブ ライラ	3	「日本の歌百選」や童謡・唱歌をメインにした体験参加型ヘルマンハーブ演奏活動

③② フォーラム北摂五郷の里	8	広域（豊能町・能勢町・猪名川町・川西市山下以北・止々呂美）の魅力の共有・地域間の交流企画・共通課題の取り組み
③③ リコーダーアンサンブルとよの	4	リコーダーと鍵盤楽器でバロック音楽等を演奏
③④ 豊能町傾聴の会「たまゆら」	10	地域での傾聴活動と傾聴に関する勉強会
③⑤ リノ・フラ・モエ	13	フラダンス、ヨガ、高齢者向けの体操を行う
③⑥ 若葉会	3	施設や地域の行事に参加し、腹話術・マジックを披露
③⑦ オカンバレエ団	10	参加型バレエライブの披露、「みんなのバレエ体操」のワークショップの開催
③⑧ のせでんアートライン 妙見の森実行委員会	10	2年に1度の芸術祭「のせでんアートライン」の開催

※従来からの活動を主に記載しています。コロナ禍のためグループの活動は制限されています。

4. 在宅サービス事業

制度の狭間となる要介護状態の方などが安心した日常生活が送れるよう、車イスの貸し出しや福祉車両の貸し出し（車イス車、助手席スライドシート車）を行いました。

従来であれば、介護予防、情報交換、孤独感の解消のため、ひとり暮らし高齢者社会参加事業として公民館などに集まっての事業を実施していましたが、コロナ禍のため、個別訪問活動としておおむね月1回、弁当等を届けました。電話訪問事業は、緊急事態宣言期間中を除き、実施しました。

1) 要支援高齢者対策

①ひとり暮らし高齢者への個別訪問（弁当や情報のお届け）

町内居住の70歳以上のひとり暮らし高齢者 60人、延べ733回

②電話訪問事業

実施方法 電話訪問グループ「べる♪」がボランティアルームより対象者宅に電話で訪問

対 象 高齢者世帯等 17人

実施回数 月4～5回

広報啓発 社協及び地区福祉委員会広報紙、ホームページ、ちらし

2) 車イス貸出事業

自操用 9件（保有台数13台）、介助用 32件（保有台数20台）

3) 福祉車両貸出事業

登録者数 8人、利用回数 38回

5. 地域啓発事業

1) ふれあいのつどい

社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡会、吉川中学校区地域教育協議会（すこやかネット）との4者共催による福祉・教育啓発イベントではありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

2) 広報紙「こんにちは！とよの社協です。」の定期発行

発行回数 6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

発行部数 8,800部

配布方法 各戸配布(町広報紙と同時配布)、公共施設窓口

3) ホームページを全面リニューアル

4) ボランティアグループ紹介

6. 社協会員会費

より充実した地域福祉活動を行うための安定した自主財源の確保と組織基盤の強化を図るため、社協会員を継続して募集しました。

住民会員 884人 701,000円、一般賛助会員 4人 39,000円

特別賛助会員 1団体 5,000円

7 広報委員会

地域住民の声を反映した広報紙になるよう、内容の検討と発行前の校正などで委員会を開催しました。(5/21、7/16、9/17、11/19、1/21、3/18)

8. 日常生活自立支援事業

関係機関との連絡・調整を随時行い、情報交換と今後の連携のあり方を検討するとともに、制度の広報啓発として社協広報紙に制度の概要を掲載しました。

契約件数4件(継続4件)、相談・援助のべ回数164回、契約後の活動回数79回

9. 当事者組織運営支援

1) 介護者(家族)の会運営支援(助成金 50,000円)

コロナ禍のため、各種事業やいこいのカフェは中止としました。会員間でのつながりを継続するために広報紙配布と一緒に個別訪問し声かけを行いました。

役員会 6回(6/16、7/14、9/17、12/15、2/16、3/16)

つどい 毎月第4木曜日、勉強会を含めた集いと各種事業の検討(少人数2部制で実施し、緊急事態宣言期間中は中止)

広報活動 介護者の会だよりの定期発行(毎月1回)

配布先 会員、町内公共施設、町内開業医他

その他 大阪府老人介護者(家族)の会連絡会への参加協力、介護相談

2) ひとり暮らし高齢者の会運営支援(助成金 50,000円)

コロナ禍のため、交流やレクリエーションで集まることはできませんでした。当事者間での見守りや声かけ等個別訪問を実施しました。

10. 献血推進事業

1) 献血車による献血の実施

5/8 役場本庁(受付49人、採血47人)

9/11 ふれあいのつどい(受付54人、採血47人)

1/15 保健福祉センター(受付74人、採血66人)

2) 献血啓発

成人式「わたちの献血キャンペーン」にて啓発活動の実施

社協広報紙、ホームページへ記事掲載

11. 募金活動

- 1) 共同募金の実施（期間 10/1～12/31） 実績額 771,472 円
- 2) 歳末たすけあい運動の実施（期間 12/1～12/31） 実績額 150,000 円

12. 共同募金事業

コロナ禍でそうじサービス等の事業実施が困難であったため、ひとり暮らし高齢者及び障がい者、子育て家庭を対象に訪問活動を行いました。

- 1) 地区福祉委員会と協働でのひとり暮らし高齢者及び子育て家庭への訪問活動
- 2) 当事者組織等運営支援

13. 歳末たすけあい事業

- 1) 歳末たすけあいそうじサービス（利用者 37 人）
対象 75 歳以上の高齢者のみの世帯、重度要介護者を介護中の世帯
- 2) おせち料理宅配サービス（利用者 59 人）
- 3) 貸出用車イス・福祉車両保守点検

14. 生活福祉資金貸付

コロナ禍により生計維持が困難になった世帯に向けて新型コロナウイルス特例貸付が実施となりました。それに伴い申し込みや相談件数が増加、関係機関とも連携して対応しました。

新型コロナウイルス特例貸付

緊急小口資金 68 件、総合支援資金 47 件、総合支援資金延長 31 件、総合支援資金再貸付 26 件
相談・問い合わせ 168 件（償還に関する問い合わせ含む）

15. 町葬儀

町葬儀利用件数 0 件

16. 介護保険関連事業

新型コロナウイルス感染症に対し不安な一年で、介護に携わる職員にはマスク、アルコール消毒、防護服を支給し、感染対策を行いました。また、利用者からの不安に寄り添えるよう、ケアマネジャーを中心に他事業所とも連携し、より良いサービスが提供できるように取り組みました。

訪問調査は更新する方が減少したため受託件数も減少しました。

- 1) 居宅介護支援事業 予防ケアプラン・ケアプラン作成数 1275 件 (R1 1011 件)
訪問調査業務受託 88 件 (R1 191 件)
- 2) 介護予防訪問介護・訪問介護事業 利用者のべ 637 人 (R1 581 人)
提供日のべ 7383 日 (R1 7444 日)

17. 障がい福祉サービス事業

介護保険関連同様に感染症対策を行いながらサービス提供いたしました。新型コロナウイルス感染予防のため施設利用が困難で在宅でのサービスが多くなった時期もありましたが、利用者のニーズに応えられるよう対応しました。

- 1) 居宅介護・同行援護 利用者のべ 301 人 (R1 285 人)
- 2) 移動支援事業 利用者のべ 22 人 (R1 15 人)

18. 老人福祉センター（永寿荘・豊寿荘）施設管理

令和2年3/4～5/31及び12/16～3/1は休館のため年間利用者は減少しています。

- 1) 永寿荘 利用者のべ1,382人（R1 3,790人）
- 2) 豊寿荘 利用者のべ5,133人（R1 11,047人）

19. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催状況

1) 理事会

	開催日	主な案件
1	5/21	平成31年度事業報告、平成31年度決算、評議員会の議題確認 ※書面決議
2	2/25	令和2年度補正予算（案）、令和3年度事業計画（案）、令和2年予算（案）、 評議員会の議題等確認、役員等賠償責任保険契約に関して、事務局長の選任及 び解任

2) 評議員会

	開催日	主な案件
1	6/14	平成31年度事業報告、平成31年度決算 ※書面決議
2	3/25	令和2年度補正予算（案）、令和3年度事業計画（案）、令和3年度予算（案）

20. 会議・研修等

1) 各種会議

- 共同募金事務担当者打ち合わせ会（8/7 大阪社会福祉会館）
- 豊能町要保護児童対策地域協議会（9/30 中央公民館）
- ボランティアセンター担当者会議（10/19 大阪社会福祉会館、3/3 ズーム会議）
- CSW 連絡協議会（3/19 ズーム会議）
- 災害運営支援者意見交換会（3/17 ズーム会議）
- 日常生活自立支援事業担当者会議（9/2 大阪府社会福祉会館、3/11 ズーム会議）
- 市町村ボランティア連絡会研修交流会（11/11 ズーム会議）
- 近畿ブロック社協災害支援研修（2/17 社会福祉指導センター）
- 重層的支援体制整備事業に係る研修会（3/8 ズーム会議）
- 大阪府市町村社協連合会総会（4/9 社会福祉指導センター）
- 市町村社協連合会会長・事務局長合同会議（4/9・7/9・2/4 ズーム会議）
- 北摂地区社会福祉協議会連絡会（3/2 ズーム会議）
- 人権まちづくり協会総会（6/20 中央公民館）
- 市町村社協事務局長会議（9/3・11/7 社会福祉会館）
- 共同募金会評議員会（書面議決）
- 社会福祉法人等指導監査合同説明会（書面）
- 国民健康保険運営協議会（2/16 保健福祉センター）
- 介護保険運営会議（7/17・9/18・11/20・2/10 本庁）
- 北摂地域介護人材確保連絡協議会（7/30 摂津市コミュニティプラザ）
- 地域保健医療対策協議会（2/25 保健福祉センター）

北摂地区社協事務局長会議（3/30 茨木市福祉文化会館）
障害者給付認定審査会（5/21、7/16、12/17、3/17 池田市役所）
被保護者健康管理支援事業連携会議（9/16）

2) 研修会他

介護保険指定居宅サービス事業者集団指導（動画視聴）
障がい福祉サービス指定事業者集団指導（書面）
小地域ネットワーク事業リーダー研修（録画配信）
プランターファーム視察（淡路市社会福祉協議会）

21. 関係団体の総会等

ボランティア連絡会総会（4/6 ユーベルホール）
希望ヶ丘地区福祉委員会設立20周年記念式典（11/13 希望ヶ丘集会所）
吉川・ときわ台地区福祉委員会総会（書面決議）
東ときわ台地区福祉委員会総会（書面決議）
光風台地区福祉委員会総会（書面決議）
新光風台地区福祉委員会総会（書面決議）
希望ヶ丘地区福祉委員会総会（書面決議）
東能勢地区福祉委員会総会（書面決議）
豊能町民生委員児童委員協議会定例会（毎月第3火曜日ユーベルホール他）
介護者（家族）の会総会（書面決議）
大阪府介護者（家族）の会連絡会総会（書面決議）
市町村ボランティア連絡会総会（書面決議）